



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月1日

上場会社名 株式会社 フジインコーポレーテッド 上場取引所 東 名  
 コード番号 5384 URL <http://www.fujiiminc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 鈴木 彰 TEL 052-503-8181  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,959	15.9	2,740	173.6	2,746	168.7	1,714	149.1
24年3月期第2四半期	14,631	△9.3	1,001	△40.8	1,022	△40.9	688	△39.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,407百万円 (-%) 24年3月期第2四半期 94百万円 (△89.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	66.10	—
24年3月期第2四半期	24.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	47,338	39,658	83.2	1,517.86
24年3月期	44,381	38,643	86.4	1,478.56

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 39,371百万円 24年3月期 38,352百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	31.3	5,000	424.3	5,000	381.6	3,000	452.3	115.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	30,699,500株	24年3月期	30,699,500株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	4,760,353株	24年3月期	4,760,345株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	25,939,152株	24年3月期2Q	27,891,039株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、欧州の債務問題を起因とした景気低迷、米国景気の成長鈍化や新興国の景気減速などにより全般的に停滞感が強く、先行きについても依然として不透明な状況が続いております。

半導体市場につきましては、第1四半期連結会計期間においては在庫調整の一巡により持ち直しの動きが見られたものの、第2四半期連結会計期間に入り、従来型パソコンや薄型テレビ等の最終製品の販売不振の影響を受け、減速傾向となりました。

こうした状況下、当社グループでは、非半導体関連の新規海外需要伸長による売上拡大とコスト削減に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高16,959百万円(前年同期比15.9%増)、うち製品売上高16,855百万円(前年同期比16.5%増)となりました。また、利益面では、営業利益2,740百万円(前年同期比173.6%増)、経常利益2,746百万円(前年同期比168.7%増)、四半期純利益1,714百万円(前年同期比149.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、半導体市場の需要減少により主にシリコンウェハー向け製品の販売が減少しましたが、非半導体関連向け製品の販売が順調に拡大したことから、売上高は12,228百万円(前年同期比24.4%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は、売上高増加とそれに伴う工場稼働率の向上やコスト削減効果により3,146百万円(前年同期比155.5%増)と大幅な増加となりました。

北米につきましては、半導体市場の低迷により売上高は2,062百万円(前年同期比12.0%減)となりましたが、製品構成の影響やコスト削減等によりセグメント利益(営業利益)は124百万円(前年同期比16.8%増)となりました。

アジアにつきましては、主にハードディスク向け製品の販売が増加し売上高は1,682百万円(前年同期比13.7%増)となりましたが、新たに設立しましたFUJIMI TAIWAN LIMITEDの開設費用が発生したことから、セグメント利益(営業利益)は1百万円(前年同期比98.7%減)となりました。

欧州につきましては、売上高は985百万円(前年同期比0.9%増)、セグメント利益(営業利益)は82百万円(前年同期比72.6%増)となりました。

用途別売上の実績は、次のとおりであります。

当社グループの主力となるシリコンウェハー向け製品につきましては、半導体市場の需要減少等によりラッピング材の売上高は1,648百万円(前年同期比2.2%減)、ポリシング材の売上高は3,195百万円(前年同期比17.9%減)となりました。

CMP向け製品につきましては、最先端ロジックデバイス向け製品の販売が増加し、売上高は4,399百万円(前年同期比11.3%増)となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、アジアでの販売が増加したものの、グループ全体としては従来型パソコンの低調な出荷状況等により、売上高は887百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、販売が順調に拡大したことから、売上高は5,583百万円(前年同期比100.5%増)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、2,957百万円増加し、47,338百万円となりました。これは、たな卸資産が499百万円減少したものの、現金及び預金が2,501百万円、受取手形及び売掛金が1,382百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、1,942百万円増加し、7,680百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が323百万円、未払法人税等が1,122百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、1,015百万円増加し、39,658百万円となりました。これは、利益剰余金が1,325百万円増加したこと等によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しにつきましては、長期化する欧州経済の停滞や新興国の景気減速等から、世界経済の悪化懸念が高まっています。半導体市場においても、依然として従来型パソコンやデジタル家電等の最終製品の世界需要が低調であるなど予断を許さない状況にあります。

当社グループはこの厳しい事業環境の中、変化にいち早く対応することにより半導体関連事業はもとより、非半導体関連事業の売上拡大に向け、引き続き注力してまいります。

なお、平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月16日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当該事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,490	11,991
受取手形及び売掛金	6,504	7,886
有価証券	5,301	5,002
商品及び製品	2,920	2,761
仕掛品	1,245	1,295
原材料及び貯蔵品	2,075	1,685
繰延税金資産	434	591
その他	574	198
貸倒引当金	△41	△51
流動資産合計	28,506	31,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,782	6,591
その他（純額）	7,187	7,335
有形固定資産合計	13,970	13,926
無形固定資産		
無形固定資産	462	562
投資その他の資産		
投資有価証券	99	84
繰延税金資産	48	56
その他	1,493	1,545
貸倒引当金	△199	△199
投資その他の資産合計	1,442	1,488
固定資産合計	15,875	15,977
資産合計	44,381	47,338

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,082	3,405
未払法人税等	14	1,137
賞与引当金	612	676
役員賞与引当金	—	36
その他	1,814	2,204
流動負債合計	5,523	7,460
固定負債		
繰延税金負債	33	24
退職給付引当金	147	157
その他	32	37
固定負債合計	214	219
負債合計	5,737	7,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,069	5,069
利益剰余金	35,716	37,041
自己株式	△5,711	△5,711
株主資本合計	39,828	41,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	24
為替換算調整勘定	△1,509	△1,805
その他の包括利益累計額合計	△1,475	△1,781
新株予約権	59	56
少数株主持分	231	230
純資産合計	38,643	39,658
負債純資産合計	44,381	47,338

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	14,631	16,959
売上原価	10,254	10,542
売上総利益	4,376	6,416
販売費及び一般管理費	3,375	3,675
営業利益	1,001	2,740
営業外収益		
受取利息	29	30
廃棄物処分益	22	14
その他	25	29
営業外収益合計	77	74
営業外費用		
為替差損	45	58
その他	11	10
営業外費用合計	57	68
経常利益	1,022	2,746
特別利益		
固定資産売却益	1	—
新株予約権戻入益	0	3
特別利益合計	2	3
特別損失		
固定資産除却損	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	1,022	2,749
法人税、住民税及び事業税	299	1,202
法人税等調整額	25	△179
法人税等合計	325	1,023
少数株主損益調整前四半期純利益	696	1,726
少数株主利益	8	12
四半期純利益	688	1,714



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	696	1,726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△9
為替換算調整勘定	△597	△309
その他の包括利益合計	△602	△319
四半期包括利益	94	1,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113	1,408
少数株主に係る四半期包括利益	△19	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,022	2,749
減価償却費	909	780
長期前払費用償却額	1	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	10
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10	9
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	18	36
賞与引当金の増減額(△は減少)	8	65
受取利息及び受取配当金	△31	△31
為替差損益(△は益)	37	64
売上債権の増減額(△は増加)	△229	△1,542
仕入債務の増減額(△は減少)	632	436
たな卸資産の増減額(△は増加)	△857	361
未払金の増減額(△は減少)	△171	418
その他	△647	143
小計	705	3,505
利息及び配当金の受取額	29	32
利息の支払額	△4	△0
法人税等の支払額	△551	△132
法人税等の還付額	10	342
営業活動によるキャッシュ・フロー	189	3,746
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	1,505	1,002
定期預金の預入による支出	△2,008	△1,604
有価証券の取得による支出	—	△1,000
有価証券の償還による収入	—	800
有形固定資産の取得による支出	△617	△815
無形固定資産の取得による支出	△48	△166
その他	1	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,167	△1,788
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△39	△39
配当金の支払額	△558	△389
その他	△378	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△977	△432
現金及び現金同等物に係る換算差額	△327	△125
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,282	1,400
現金及び現金同等物の期首残高	16,265	11,579
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	155	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,139	12,980

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	9,830	2,344	1,479	976	14,631	—	14,631
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,254	427	—	—	2,681	△2,681	—
計	12,085	2,771	1,479	976	17,313	△2,681	14,631
セグメント利益	1,231	106	81	47	1,467	△466	1,001

(注) 1. セグメント利益の調整額△466百万円は、セグメント間取引消去53百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△542百万円及び棚卸資産の調整額22百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	12,228	2,062	1,682	985	16,959	—	16,959
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,061	521	32	—	2,616	△2,616	—
計	14,290	2,583	1,715	985	19,575	△2,616	16,959
セグメント利益	3,146	124	1	82	3,354	△614	2,740

(注) 1. セグメント利益の調整額△614百万円は、セグメント間取引消去77百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△681百万円及び棚卸資産の調整額△10百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。